

# 鍼灸で 健やかに!

1

登美ヶ丘治療院院長

野口 創 のぐち ぞう



## 脳血管疾患と鍼治療

脳血管疾患の中でも60%以上を占める脳梗塞(こうそく)は、脳

出血に比べて比較的自覚症状がな  
いまま、ゆっくりと進行すること  
で油断がなりません。特に高血圧  
や動脈硬化の患者にとっては、脅  
威です。

数年前、某大病院で「あなた

も知らぬ間に脳梗塞」というテ  
マで二十代後半から八十代前半の  
約千人に脳のMRI検査を行いま  
した。

報告によると「微小なものを含  
めると約70%の方に脳梗塞が認め  
られる」という非常にショッキン  
グな結果が出ていました。

しかし、私が本当に驚いたのは、  
その中でほとんどが「治療の必要

という意味で、「未病を治す」と  
は、まだ病気に至っていない軽い  
段階から治療するという意味で  
す。

現代医学は、未病に対しては無  
関心で、発症した病気を重視して  
いるのが現状です。

脳梗塞は、微小でも、存在する  
ことに変わりはなく、たとえ少々  
でも血行障害があるということ  
です。

「未病」の状態である今の段階  
だからこそ、予防・治療する必要  
があるのです。

やがて、徐々に血行が悪くなり、  
大きな脳梗塞や脳出血、そして認  
知症へと進行する恐れが多分にあ  
るからです。

# 未病の治療こそ大切

がない」と断言さ  
れていたことで

中国医学では、まず何よりも血  
流改善が最も重要と考えます。  
鍼灸(しんきゅう)治療は、合

脳梗塞が微小で  
生活に支障がない  
からといって本当  
に治療の必要がな  
いといえるのでし  
ようか。私が診  
れば治療の必要あ  
ります。

谷、三陰交などの経穴(ツボ)に  
刺激することで、赤血球や血小板  
の凝集性を改善(下口下口の血液  
をさらさらにし、さらに血管を  
拡張します。漢方薬治療では、丹  
参、川芎、紅花、赤芍、益母草な  
どを服用します。

中国医学の「未病」の段階で治  
療するという予防治療は、現在、  
中国の病院で中西統合治療(中国  
医学と西洋医学を併用して治療す  
る)として、しっかりと実践され、  
欧米諸国にも評価されています。

中国医学の「未病」の段階で治  
療するといふ予防治療は、現在、  
中国の病院で中西統合治療(中国  
医学と西洋医学を併用して治療す  
る)として、しっかりと実践され、  
欧米諸国にも評価されています。



編

と、優れた医者